

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	日本語試験(日本語学・日本文学選択者)

次の文章は、映画の字幕翻訳者の太田直子氏の著書の一節である。本文をよく読んで、後の問に答えなさい。解答するにあたって、問の番号を明記すること。解答は縦書きでも横書きでもかまいません。

(中略)

問一 傍線部①「チンプンカンプンだ」の意味を書きなさい。

問二 傍線部②「一切」の読み方をひらがなで書きなさい。

問三 傍線部③「横に置いておく」とはどういうことか、説明しなさい。

問四 傍線部④の「いっそ」を使った文を作りなさい。

問五 傍線部⑤「甲乙つけがたい」の意味を書きなさい。

問六 傍線部⑥「次第」の読み方をひらがなで書きなさい。

問七 傍線部⑦「所作」の読み方をひらがなで書きなさい。

問八 傍線部⑧「試行錯誤」の読み方をひらがなで書きなさい。

問九 傍線部⑨「いちばんの欠点は、せりふの内容を100パーセント伝えられないことだ。」と筆者が述べる理由を書きなさい。

問十 傍線部⑩「めまぐるしく」の意味を書きなさい。

問十一 傍線部⑪の「おちおち」を使った文を作りなさい。

問十二 傍線部⑫「もとの俳優のナマの声に比べると「クサさ」は否めない」について、「ここ」でいう「クサさ」とはどういったものを指していると考えられるか、あなた

の考えを書きなさい。

問十三

「外国映画の翻訳」には、「字幕版」と「吹き替え版」とがあるが、あなたが外国映画を観る際、(1)「字幕版」と「吹き替え版」のうち、あえて選ぶとすれば、どちらを選ぶか、(2)また、その理由を一五〇字程度で書きなさい。

(以上)

次の文章とは、太田直子『字幕屋は銀幕の片隅で日本語が変だと叫ぶ』(光文社・二〇〇七年) 十四頁～十六頁である。